

## 令和 4 (2022) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	反芳香族化学の革新
研究代表者	忍久保 洋 (名古屋大学・工学研究科・教授) ※令和 4 (2022) 年 6 月末現在
研究期間	令和 4 (2022) 年度～令和 8 (2026) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b> 本研究は、一般に不安定とされる立体障害を持たない反芳香族分子を分子間相互作用によって集積・安定化する一般的方法論の開発を目的としている。加えて、反芳香族分子の機能発現に向けて構造・物性相関に関する調査を行い、反芳香族化学に対する新しい学術的基盤を確立することを目指している。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b> 応募者らは、新しい <math>\pi</math> 共役分子の創成に関する優れた研究業績を上げてきている。本研究は、これまでの研究過程で発見した反芳香族分子の分子間相互作用による安定化に関する新しい知見を基に、様々な反芳香族分子の設計・合成を行おうとするものである。さらには有機機能性材料への応用を念頭に置いた物性研究も計画されている。独創性が高く、<math>\pi</math> 共役分子の化学に革新をもたらし、有機化学のみならず物性化学への波及効果も期待される。</p>